

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.80

萩ジオパーク推進協議会

| 2021年10月29日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

「地球を食べる食堂 阿武火山群と無角和種」 オンライン開催！

10月16日（土）、萩ジオパークが提供する「食」を通じた大地と人のつながりを楽しむ体験型講座「地球を食べる食堂 阿武火山群と無角和種」を開催しました。今回もオンライン開催となり東京、千葉、茨城、大阪、愛知、静岡、島根、山口など全国各地から総勢16名の参加をいただきました。この日は、阿武町の地域おこし協力隊として、無角和種を担当されている藤尾さんにご登場いただき、阿武の大地と人のつながりに迫りました。



まずは、藤尾さんが無角和種の放牧地から、和牛の4品種のうちの1品種を担っているにもかかわらず山口県にのみ200頭しか存在しない希少性や、角がない理由、角がないメリット、15ヘクタールの広大な土地でのびのび育てている話など無角和種を見ながらその魅力について説明いただきました。

続いて萩ジオパーク白井専門員から、約200万年前から1万年前に噴火した阿武火山群の火山活動によりこの辺りには、平らな大地と盆地が形成されたことを実験によって分かりやすく解説しました。「火山活動で形成された盆地では農業がおこなわれ牛は役牛として活躍し、農業が機械化すると、肉用牛として広い平らな大地でのびのびと肥育されるようになった」と大地と人のつながりについて説明しました。休憩をはさんで再び藤尾さんに登場いただき、無角和種（赤身肉）のおいしい焼き方をご紹介いただきました。脂身の使い方、焼き上がり具合の確認方法、焼きあがった後すぐに切らずに肉汁を落ち着かせるなど詳しく解説していただきました。

最後に、白井専門員と藤尾さんによる「食後の座談会」を行い、「赤身の肉だが白ワインの方が合う」、「阿武町のお酒や野菜と合わせるのもおすすめ」など無角和種の楽しみ方の紹介や、「頭数が少ないので増やしたい気持ちはあるが、今のやり方は絶対に変えないでがんばりたい」、「日本の畜産業界に一石を投じたい」など熱い思いを聴くことができました。



冬季期間の笠山山頂展望台について

笠山山頂展望台は、令和3年11月1日から令和4年3月31日の間を冬季期間とし、2階カフェ兀兀の営業時間は、土・日曜、祝日の11時から17時（ラストオーダー16時）となります。

3階展示休憩室の開館時間は、土・日曜、祝日の10時から17時で、期間中の平日に利用を希望される方は、1週間前までにジオパーク推進課（0838-21-7765）への連絡が必要です。



山口ゆめ回廊博覧会プレミアムゆめ散歩 「蔵元杜氏さんに会いにいこう」

10月2日、秋晴れの中「蔵元杜氏さんに会いにいこう」が7名の参加者で開催されました。阿武火山群の火山活動で誕生した溶岩台地で育った収穫前の酒米風景や湧き水、酒米のとうせい工場などをスポーツバイクで約10キロ見学してまわり、最後に古くからむつみ地域で造り酒屋を営む八千代酒造の若き5代目蔵元杜氏・蒲久美子さんにご案内していただき酒蔵を見学しました。



第11回日本ジオパーク全国大会 島根半島・宍道湖中海大会が開催されました

10月3日～5日にかけて、第11回日本ジオパーク全国大会 島根半島・宍道湖中海大会が一部を除きオンライン開催されました。3日午後からは、本会会長である田中文夫萩市長も参加して市町村長セッション「コロナ時代のジオパーク活動による地方創生と持続可能な社会の構築」が行われました。パネリストは各地域に即した課題及びその解決に向けた取組みについて発表し、意見交換が行われました。

4・5日は、19グループ32名の参加者に向け、萩ジオパーク引受の有料ガイド講習会を行いました。講師は（一社）をかしや代表理事の菊間彰さんと環境教育事務所 Linoworks代表の仲上美和さんをお願いし、オンラインインタープリテーション講座としました。参加者はZoomの操作に慣れるところから始め、オンラインでも「五感・体験」を重視した紹介ができることを萩のジオガイドさんから学び、自ら実演しました。インタープリターの大切さ、きちんと情報を整理し、そぎ落とさなければ伝えたいことは伝わらないことを体感していただけたことでしょうか。各地で楽しいプログラムが提供されるといいですね。



ふくい勝山ジオパークの 皆さんをオンラインでご案内



10/9に福井県の恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークのガイドさんたち向けに、オンラインで萩城下町や笠山をご案内しました。コロナ禍で視察に出かけることができないので、オンラインツアーをしてもらえないかとご依頼いただいたものです。質問や感動の声が飛び交う大盛り上がりの内容となりました。ツアー最後に夏みかん菓子や手ぬぐいなどのお土産セットをご紹介して希望者を募ったところ、ほとんどの方にご購入いただく盛況ぶりでした。終了後には萩のガイドさんたちも交えて交流会をしました。ふくい勝山のみなさんもオンラインツアーの実施に興味があるようで、やり方に関するご質問を多くいただきました。早速その場で家の外の景色を見せていただいたり、勝山の特産物を紹介していただいたり、即席でプチガイドをしていただき、ツアーの実現の可能性も見える充実した時間となりました。

地域の大地の成り立ちについて授業をしてほしい、と山口市立さくら小学校から依頼があって専門員の白井が出前授業に行きました。子どもたちの顔を見ると、なんとなく見覚えが。「私のこと、覚えてますか?」と聞いたら、YESの回答。3年前に別の行事で話したことを覚えてくれていたようです。すごいのは、その内容も完璧に覚えていたこと！おかげで授業の内容の半分は子どもたちがしゃべってくれました。先生も驚いていました。さらに嬉しいことに、3年前にやったことは、ジオガイドの方が作ってくれた装置を使っての解説だったということ。「ビー玉がこうなって～」と嬉しそうに語る子どもたちの姿に、いろいろな人の顔が思い浮かんで感動しました。講師の依頼は多くあっても、その効果を知る機会というのはそう多くありません。私たちがしていることが確かに子どもたちの身につけていると、実感させてもらえるサプライズでした。

さくら小学校で出前授業



萩ジオパーク地域巡回展



上/旭マルチメディアセンター
右上/むつみ総合事務所
右下/川上公民館

地域住民の方に萩ジオパークについて広く知っていただくことを目的として、萩市内各地で萩ジオパークをパネル展示形式で紹介する地域巡回展を開催しています。10月は旭、川上、むつみ地域で開催しました。また、11月は下記の日程で開催します。近くにお越しの際はぜひご覧ください。

期間	時間	場所
11月1日(月)～11月5日(金)	8:30～17:15	福栄総合事務所1階ロビー
11月8日(月)～11月12日(金)	8:30～17:15	須佐総合事務所玄関ロビー
11月15日(月)～11月19日(金)	9:00～22:00	田万川コミュニティセンター

※金曜日は15:00まで
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては日程が変更になることがあります

参加募集！

大地の遊び人養成講座

大地の遊び人養成講座は、野外での遊びを通して大地と人の“つながり”を実感する力を養う体験型講座です。大人も子どもも関係なく、目の前の大地に胸を借りて時間の限り大いに遊びましょう！詳しくは、HPをご覧ください。

【日時】11月13日（土）9：00～13：00

【会場】阿武町奈古 筒尾海岸周辺

【参加費】大人2,500円／小中学生1,500円

【定員】10名※申込〆切：11月5日（金）



地球を食べる食堂 ～龍が通った道と弥富そば～



食を切り口に“大地と人のつながり”に触れる体験型講座『地球を食べる食堂』の今年度第3弾、「龍が通った道と弥富そば」を開催します！今回は久々の現地開催！萩市須佐の山間部、弥富地域特産の“そば”をテーマに生産地見学、ジオサイト見学、そば打ちミニ体験で、大地の視点、生産者さんの視点、料理人の視点からじっくり味わいます。

【日時】11月25日（木）9:30～13:00【集合】弥富公民館

【参加費】2,000円（昼食付）

【申込・問合せ】萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

12/19

萩ジオアカデミー2021、始めるよ！

萩の大地を研究しておられる第一線の研究者から萩の大地の成り立ちや特徴を教えていただく「萩ジオアカデミー」の今年度第1回目の講座を12月19日（日）山口市阿東で行います。講師は萩ジオアカデミーで「地形の基礎」をお話いただいた楳原京子（かごはらきょうこ）先生（山口大学）です。参加申込は12月1日から受け付けます。

なお、萩ジオアカデミーの視聴希望の方は、視聴用URLをお伝えしますので事務局までメールでお問合せください。また、萩図書館視聴覚コーナーでも閲覧できます。



11月の予定

- 山口ゆめ散歩 萩ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう」萩焼作家編 11月7日（土）10：00～12：30 集合場所：東光寺総門前（萩市椿東） 内容：萩焼作家さんの目を通して大地と人のつながりを体感する 参加費：3,500円 定員：15名 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）
- 大地の遊び人養成講座 # 4 「秋の大地と遊ぼう」 11月13日（土）9:00～13:00 場所：阿武町筒尾 内容：野外での遊びを通して大地と人のつながりを実感する力を養う 参加料：大人 2,500円、小中高生 1,500円 定員：10名 申込：電話0838-21-7765もしくは申し込みフォーム 主催：萩ジオパーク推進協議会 問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）
- geoとも（萩ジオ友の会）定例会「吉部から阿東の蔵目喜へ」 11月20日（土） 主催：geoとも 問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）
- 地球を食べる食堂 # 3 「龍が通った道と弥富そば」 11月25日（木）9:30～13:00 場所：弥富公民館 内容：萩市弥富地域で栽培されている“弥富そば”をテーマに生産地やジオサイトの見学、そば打ちミニ体験を通して、大地の視点、生産者さんの視点、料理人の視点から味わう 参加費：2,000円（昼食付） 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

はん だ がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第58話 半田くん 死刑!?



第59話 維新!前進!萩往還



わっきー教授のつづやき

今回は、萩往還編の3話目と4話目です。

涙松跡から萩市明木までの間のお話です。

この区間では東側と西側では地層や岩石が違ってきます。東側には前期白亜紀関門層群の砂岩泥岩や安山岩が、西側には後期白亜紀阿武層群の流紋岩や安山岩が分布しています。



涙松の石碑

涙松跡は、萩の城下町を見ることができ最後の場所で、旅立つ人が涙を流したと言われています。安政の大獄で江戸に送られることになった吉田松陰先生も、ここで別れの一首を残しています。涙松跡付近には、関門層群の泥岩・

砂岩・礫岩が分布しています。右の地質図の黄緑色の部分です。水色や緑色に小さく描いてある場所では実際にその岩石を見ることができます。専門的な言葉では、露頭（地下の石が地上に顔を出している場所）と言います。悴坂一里塚は、萩往還の起点唐樋札場から一里(約4km)を示す道標で、一里塚は江戸時代の道しるべでした。悴坂一里塚付近になると東側に関門層群の安山岩、西側に阿武層群の流紋岩が分布するようになります。このように東と西で違う石が出ているのは、萩往還の道に沿って、北北西-南南東方向の断層があるからです。断層というのは岩盤の割れ目で、断層を境に岩盤がずれ動くので違う石が接するようになります。岩盤が割れるということは、その場所で

岩盤が弱くなるので、まっすぐな道が出来やすくなります。こうして断層に沿って、萩往還の道が作られています。

萩往還のルート沿いには流紋岩が多く分布しています。それらは、道の駅「萩往還」や鹿背隧道(1886年築造)付近で観察することが出来ます。高台にある悴坂駕籠建場は、昔参勤交代の時にお殿様を乗せた駕籠を坂の上まで運び、そこでどっこいしょと駕籠を休ませて、休憩した場所のようです。乗り換え用の別駕籠を載せる場所もあります。ゆらゆら揺れて、お殿様も辛かったでしょうが、駕籠の担ぎ手の労力も大変だったと思います。

さて、悴坂駕籠建場をすぎると烏帽子岩が見えてきます。この烏帽子の形をした岩は地下まで繋がった石(露頭)ではないのですが、石の種類は近傍の関門層群の砂岩や泥岩と同じです。烏帽子岩からさらに南に下って行くと、明木川岸に到着します。この辺りには、萩ジオパークでは最も古い岩石が出てきます。約3億年前に出来たこの石は、我々が主人公“半田くん”の実家のある半田地区の石灰岩と同じ頃に出来た、萩ジオパークの中では最も古い岩石(チャートや砂岩)です。



萩往還（涙松から明木付近まで）地質ルート図

(日本シームレス地質図v2とグーグルマップ)